

校歌を通し地域学習

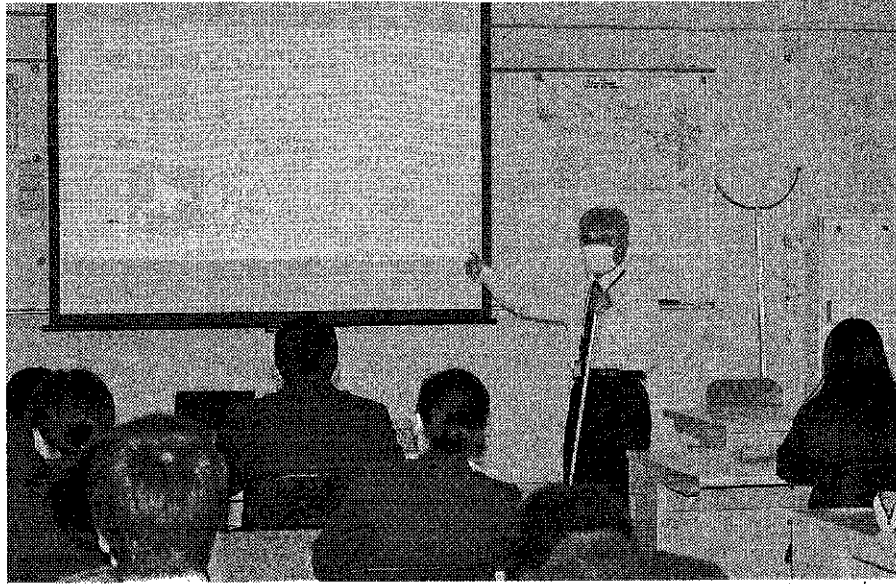
白糠高 歌詞の場所巡り調査

【白糠】白糠高校（田村）を巡る」の授業を始めた。信明校長）は5日から、1年生の「総合的な探究の時間」の一環で白糠学「校歌

知り、課題を発見し解決する能力を身に付けるのが狙い。

久遠塾前塾長で町教育委員会の上内智英地域教育コーディネーターらが同日と11、19日、計5時間の授業を行う。授業では同校の校歌と地図を照らし合わせ、歌詞に出てくる「からまつ並木」や「茶路（川）の流れ」など実際の場所をたどり、得られた内容を基に校歌の4番の歌詞を作成し発表する。

5日は、上内コーディネーターが地域調査の方法について「探究学習は課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の4段階を踏む」などと述べ、地図記号の種類や地形図の活用方法について解説した。生徒は実際に回るコースを確認し、地形図に書き込ん



地域調査について解説する上内コーディネーター

だ。

同授業推進委員長の草嶋隆介教諭は「基本的に高校生以上になると、地図の読み方を教えてもらえない。もう1回学び直して情報処理能力を養ってもらえれば」と話していた。11日は約2時間かけて地域巡検を行う。（水谷友路）